資料４

令和８年度第１５回（令和８年１１月４日）庁議提案

☑審議　☐報告　☐その他

担当部・課：産業部観光政策課　〔内線３５３５〕

１　件名

いしのまき観光大使の新規委嘱について

２　施策等を必要とする背景及び目的（理由）

【背景】

観光大使は、観光・物産のＰＲや、イメージアップなどを担う重要な役割であり、宮城県や仙台市のほか、各自治体で委嘱している。

本市では、東日本大震災で得た支援者とのつながりなどを大切にし、現在、３２名と１組に観光大使を委嘱している。

【目的】

観光大使の委嘱により、本市の魅力を広く紹介し、市の観光振興とイメージアップを図るもの。

３　根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性

【根拠法令：☐有　☑無】

【総合計画の位置付け：☑有　☐無】

第４章　多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち

第４節　地域資源を活かした観光事業の振興

【個別計画の位置付け：☑有　☐無】

石巻市産業振興計画

第２章 本市の産業振興の基本方針

施策４ 地域資源を活かした観光事業の振興

４　提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）

令和８年９月　新規委嘱候補者へ就任意向の確認

５　主な内容

１　新規委嘱者

令和８年１２月１日付けで、以下の２名を新たにいしのまき観光大使として委嘱するもの。

・志穂美（しほみ）　悦子（えつこ）　女優、花創作家

岡山県出身。日本初のアクション派女優として数々の映画やテレビ作品で活躍。花創作家としても幅広く活動し、東日本大震災後は花を通じた被災地支援に取り組む。２０１６年に「ひまわりプロジェクト」を立ち上げ、２０１７年には本市でひまわりの植栽や子どもたちへの花のワークショップを実施するなど、本市に寄り添い続けている。

・三浦（みうら）　浩（ひろし）　パラ・パワーリフティング選手

東京都墨田区出身。パラ・パワーリフティング選手。2016 年リオデジャネイロパラリンピックで５位入賞を果たすなど、パラリンピックに３大会連続で日本代表として出場している。東日本大震災後は慰問活動に携わり、石巻高校の生徒たちを東京に招待してパラスポーツ体験などを通じた交流を続けるとともに、本市の魅力発信に取り組んでいる。

２　任期

委嘱した日から起算し３年目の年度の末日まで（再任を妨げず、任期終了前に再任の確認を行う）。

３　報酬等

(1) 無報酬（ただし、市の依頼で旅行をした場合、予算の範囲内において費用弁償を支給する。）

(2) 観光宣伝に寄与するための名刺、本市に関する情報誌及び資料等を支給する。

６　実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）

【影響・効果】

観光大使の持つ知名度や発信力を生かした本市の魅力発信、各種イベントへの参加等により、本市の認知度向上や観光・物産のＰＲ効果が期待できる。

【市財政への負担】

なし。ただし、市が依頼した用務に係る費用弁償を支給する（個別事業予算で対応)。

７　他の自治体の政策との比較検討

宮城県　：みやぎ絆大使（１０６名）
仙台市　：仙台観光アンバサダー（２名１組）
東松島市：ふるさと大使（３名、１団体）
女川町　：観光大使（６名）
塩竈市　：しおがま未来大使（１１名）
気仙沼市：みなと気仙沼大使（６６名、１団体）
加美町　：加美町観光大使（８名）

８　今後の予定及び施行予定年月日

令和８年１２月（予定）　委嘱状交付式、記念品の贈呈

９　その他

いしのまき観光大使　令和８年度新規委嘱候補者

No.	写　真	プロフィール
1		志穂美（しほみ）　悦子（えつこ）　女優、花創作家 岡山県出身。1973 年にデビューし、日本初のアクション派女優として数々の映画やテレビ作品で活躍。1987 年の結婚を機に芸能活動を休止した後、花の世界に魅せられ、2010 年から本格的に花創作を学び、現在は花創作家として国内外で幅広く活動している。奈良薬師寺での花展や「世界らん展」、「国際バラとガーデニングショウ」などで作品を発表するなど、独自の感性による花の表現を追求している。 東日本大震災を契機に、2012 年から花を通じた被災地支援を続け、2016 年には「ひまわりプロジェクト」を立ち上げ、全国から寄せられた思いを花に託し、宮城、福島、熊本などの被災地へ届けてきた。2017 年には石巻市でひまわりを育て、奉納献花や子どもたちへの花のワークショップを実施するなど、震災後も石巻に寄り添い続けている。 2024 年にはシャンソン歌手「鬼無里まり」として新たな活動を始め、2026 年８月にはマルホンまきあーとテラス開館５周年記念事業「花とシャンソン LIVE―石巻に思いを馳せて―」を開催。花と音楽を通じて市民に感動と元気を届けるなど、石巻の文化・観光振興と震災の記憶の継承に寄与している。

No.	写　真	プロフィール
2		三浦（みうら）　浩（ひろし）　パラ・パワーリフティング選手 東京都墨田区出身。父親は宮城県栗原市花山地区の出身。株式会社東京ビッグサイト所属。長渕剛氏らのライブスタッフとして活動していたが、2002 年、ステージ上での事故により脊髄を損傷し、下半身不随となる。事故から 2 年後にパワーリフティングと出会い、パラリンピック出場を目指して競技を始める。 2015 年には IPF 世界マスターズベンチプレス選手権大会で優勝。2016 年リオデジャネイロパラリンピックでは日本選手最高位となる 5 位入賞を果たすなど、パラリンピックには 3 大会連続で日本代表として出場し、国内外の舞台で活躍している。 東日本大震災後は、長渕剛氏のクルーとして航空自衛隊松島基地での慰問ライブに携わるとともに、オリンピアン・パラリンピアンの一員として被災地を訪問。その後も、東京ビッグサイトで開催された「STAND UP SUMMIT」に石巻高校の生徒たちを招待し、パラスポーツ体験などを通じた交流を続けてきた。こうした活動を通じて石巻とのつながりを深め、震災の記憶の継承やパラスポーツの普及、石巻の魅力発信に取り組んでいる。